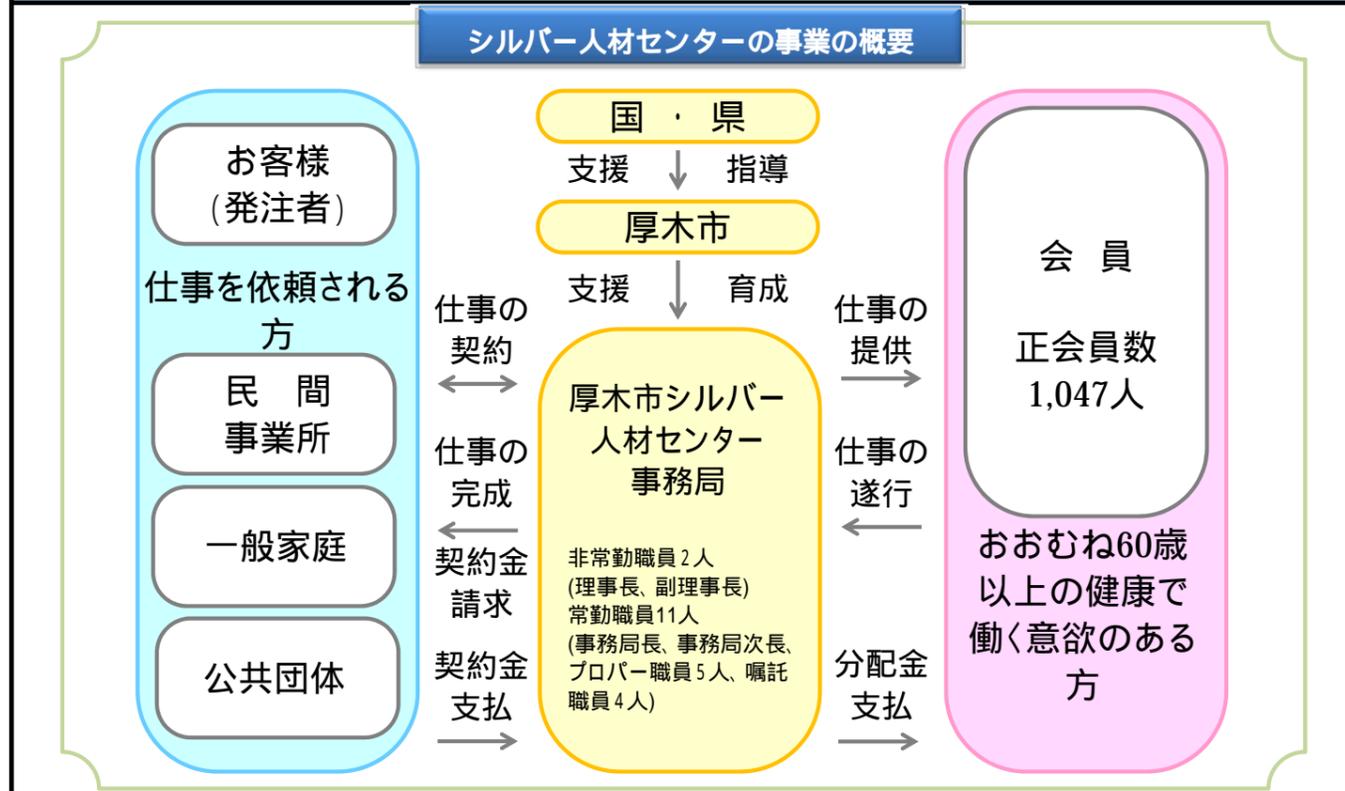


事業概要シート

担当部名	福祉部	事業名 (子事業名)	シルバー人材センター運営費補助金
担当課名	介護福祉課	根拠法令・例 規・要綱等	高齢者等の雇用の安定等に関する法律
担当係名	高齢者ふれあい係		厚木市シルバー人材センター運営費補助金交付要綱
事業開始年度	平成3年		
関連する事業 (子事業名)			
事業概要			
目的	高齢者の就業機会を拡大することを通じて社会参加の機会を広げることで、福祉の増進を図ることを目的に設立されているシルバー人材センターの運営費を補助します。		
対象	公益社団法人厚木市シルバー人材センター		
実施方法	シルバー人材センター運営費補助金として、運営費の一部を補助しています。		
事業詳細	<p>公益社団法人厚木市シルバー人材センター運営費補助金交付要綱に基づき、その運営及び活動を支援するため、センター職員の人件費、事務費その他センターの事業運営に直接必要と認められる経費を、補助金として交付しています。</p> <p>〔シルバー人材センター事業について〕 高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、高齢者の臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会を確保することで、社会参加の機会を提供し、生きがいづくり及び福祉の増進を図ることを目的としています。平成28年度には、次の目標を掲げて事業を実施しました。 1 会員の増強（広報強化、女性会員拡大、研修会の実施）、2 受注の拡大（広報活動、業務開拓、新規事業の開拓）、3 組織体制の充実（地域班活動の充実等）、4 安全就業の徹底、5 財政基盤の確立（経常経費の節減、受注額増大の推進）、6 社会奉仕活動（ボランティア除草等）</p>		
事業の効果	「定年の引き上げ」、「継続雇用制度の導入」等による高齢者の安定雇用の確保や、「再就職の促進」、「定年退職者その他高齢退職者に対する就業機会の確保等」の措置を総合的に講じるための役割を担い、高齢者等の職業の安定その他福祉の増進を図り、経済及び社会の発展に寄与しています。		
事業周知方法 ・内容	ホームページ、会報、リーフレット等の広報媒体を活用し、シルバー人材センターの活動内容を周知しています。		

事業の全体像（フロー図、写真などを用いて事業の様子を視覚的に説明）



代表的な事業指標	指標名	厚木市シルバー人材センターの契約金額					
	指標の説明	厚木市シルバー人材センターが受注した契約金額					
		単 位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	指標備考
	目標	千円	395,000	410,000	410,000	402,000	受託件数の推移(参考) H26 4,434件 H27 4,701件 H28 4,793件
実績		392,124	394,198	397,971			
達成率		99.3%	96.1%	97.1%			
事業のコスト							
コスト	単位	平成27年度(決算)		平成28年度(決算見込み)		平成29年度(予算)	
	事業費	41,722		41,722		46,722	
	人件費	842		861			
経費総額	42,564		42,583				
人件費内訳	平成27年度人件費内訳(単位:千円)			平成28年度人件費内訳(単位:千円)			
	行政職1	@ 8,421 × 0.10人 =	842	行政職1	@ 8,610 × 0.10人 =	861	
行政職2	@ 8,304 × 人 =	0	行政職2	@ 8,472 × 人 =	0		
消防職	@ 8,672 × 人 =	0	消防職	@ 8,719 × 人 =	0		
再任用	@ 3,514 × 人 =	0	再任用	@ 3,716 × 人 =	0		
臨時職員	@ 1,186 × 人 =	0	臨時職員	@ 1,197 × 人 =	0		
その他	× 人 =	0	その他	× 人 =	0		
事業費及び財源内訳(千円)	年度	総額	一般財源	国県支出金	市債	その他	
	H27(決算)	41,722	41,722				
	H28(決算見込み)	41,722	41,722				
H29(予算)	46,722	46,722					
事業費内訳	【平成29年度予算の内訳】						
	負担金、補助及び交付金(内訳)	46,722千円	人件費 44,822千円(職員基本給 24,878千円、職員手当等 11,510千円、法定福利費等 5,859千円、退職金給付金 2,575千円)				
	事務費	1,900千円	消耗品費(車両ガソリン代、事務用品等) 400千円、印刷製本費(受注用のチラシ、見積書、請求書等) 200千円、賃借料(PC、コピー機のリース代等) 1,150千円、委託費(PC保守、広告料等) 150千円				
市民要望 社会的要請 課題	平成29年1月に実施された厚木市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定のために行った調査において、65歳から69歳の高齢者のうち25.6%が、厚木市に望む高齢者施策として、「高齢者の就労を支援すること」と回答しています。 一般事業者と比較して安価に労働力を提供でき、高齢者が主たる業務従事者であるセンターは、高齢者の立場や心情を深く理解している存在として、介護予防などのサービスを提供する介護保険・日常生活支援総合事業の新たな担い手として、地域を支える役割も期待されています。 多様化する就業ニーズに対応するため、派遣事業への参入拡大などを検討する必要があります。						
上記課題等への 対応や見直しの 方向性	生産年齢人口の減少が見込まれる中、経済や社会の活力を維持するためには、若者や女性ももとより、高齢者も含めたすべての者が労働参加できる全員参加型社会の構築が求められています。 高齢者の就労支援に加え、高齢者の生きがいづくりや社会貢献の場を提供する役割も期待されることから、次のポイントに重点をおき、今後の事業を展開する必要があります。 1 高齢者が就業しやすい就業環境・就業条件の整備 2 高齢者の能力を活用した職場の開拓 3 高齢者が参加に意義を見出す事業の創造						
直近3年以内の 事業見直しの 有無と内容	見直しの有無	有					
	「定年の引き上げ」や「継続雇用制度の導入」が進み、新入会員の平均年齢が上昇する中で、会員や役員等の口コミによる勧誘や各種広報媒体を活用した入会の促進、会員の資質向上のための研修会の充実に努めた結果、2年ぶりに会員数が増加しました。						
近隣自治体等 の状況	会員数については、全国的に伸び悩んでいます。 補助金額については、県下の市町村間に、7,550千円～49,116千円(H26調査)と、大きな開きがあります。						

【事業番号8】シルバー人材センター運営費補助金(事前確認・回答)

委員事前確認事項	
1	補助金の大半が人件費に充てられているが、職員数は何人いるのか。また、職員の人件費のうち、補助金が占める割合はどの程度なのか。
2	補助金に余剰が出た時は市に返還されるとあるが、返金の実績はあるか。
3	市はシルバー人材センターにどのような「育成」を行っているのか。
4	シルバー人材センターの会員になるためになぜ3,000円が必要なのか。

担当課事前回答
職員は現在13人(常勤11人・非常勤2人)です。平成28年度の人件費のうち、市補助金は62.1%であり、残りはセンターの自主財源から充てられています。
過去に返金の実績はありません。
市から補助金を支出しているほか、組織や団体の運営等に見識を有する市の元職員を配置し、団体運営を育成・支援しています。
会員としての名簿登載や仕事の受注・紹介を行うための事務費用の一部として入会金(年会費を兼ねる)をいただいています。金額については配分金割合とのバランスになりますが、正会員の就業率(98.8%、H27)を考えると、ほぼ公平な負担ではないかと思われます。

センターの概要と沿革

厚木市シルバー人材センターは、市内在住で概ね60歳以上の健康で働く意欲があり、仕事などを通じて社会貢献を実感し、生きがいとする会員によって構成されています。

現在約1,000人の会員が活動しています。

事業として、家事援助、育児支援、除草、植木剪定、襖・障子・網戸の張替え、屋内外の清掃、公共施設の管理などがあり、様々な活動をおして活力ある地域社会づくりに寄与しています。

昭和52年6月に高齢者事業団設立後、平成元年4月に法人化して以来、地域社会に不可欠な組織として活動を続け、平成24年4月より公益社団法人として新たな歩みを続けています。

高齢者等の雇用の安定等に関する法律（抜粋）

第1章 総則

第5条（国及び地方公共団体の責務）

国及び地方公共団体は、高年齢者等の意欲及び能力に応じた雇用の機会その他多様な就業の機会の確保等を図るため必要な施策を推進する。

第36条（国及び地方公共団体の講ずる措置）

国及び地方公共団体は、定年退職者その他の高年齢退職者の職業生活の充実その他福祉の増進に資するため、臨時的かつ短期的な就業又は軽易な業務に係わる就業を希望するこれらの者について、就業に関する相談を実施し、その希望に応じた就業の機会の確保のために必要な措置を講ずるように努めるものとする。

第6章 シルバー人材センター等

第37条（指定等）

都道府県知事は、市町村の区域ごとに一個に限り、シルバー人材センターを指定することができる。

第38条（業務等）

- ① シルバー人材センターは、臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係わる就業を希望する高年齢退職者のために、これらの就業の機会を確保し、及び組織的に提供すること。
- ② 職業紹介事業を行うことができる。
- ③ 必要な知識及び技能の付与を目的とした講習を行うこと。
- 2 職業紹介事業を行うことができる。
- 3 高年齢退職者を対象に労働者派遣事業を行うことができる。

公益社団法人厚木市シルバー人材センター運営費補助金交付要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、公益社団法人厚木市シルバー人材センター（以下「センター」という。）に対して、その運営及び活動を支援するため補助金を交付することについて、厚木市補助金等交付規則（昭和45年厚木市規則第5号）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(補助対象)

第2条 補助金交付の対象は、センター職員の人件費、事務費その他センターの事業運営に直接必要と認められる経費とする。

(補助金の額)

第3条 補助金の額は、前条の補助対象について、予算の範囲内で市長が定める額とする。

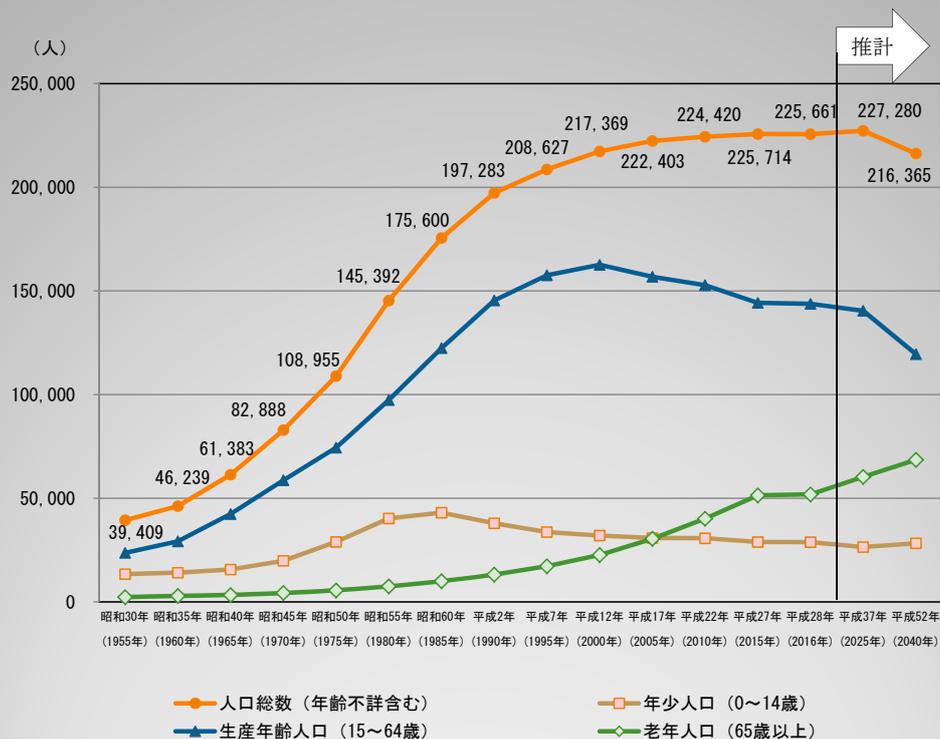
(補助金の交付時期)

第4条 補助金は、原則として4月（前期）及び9月（後期）に分けて交付するものとする。

(補助金の返還)

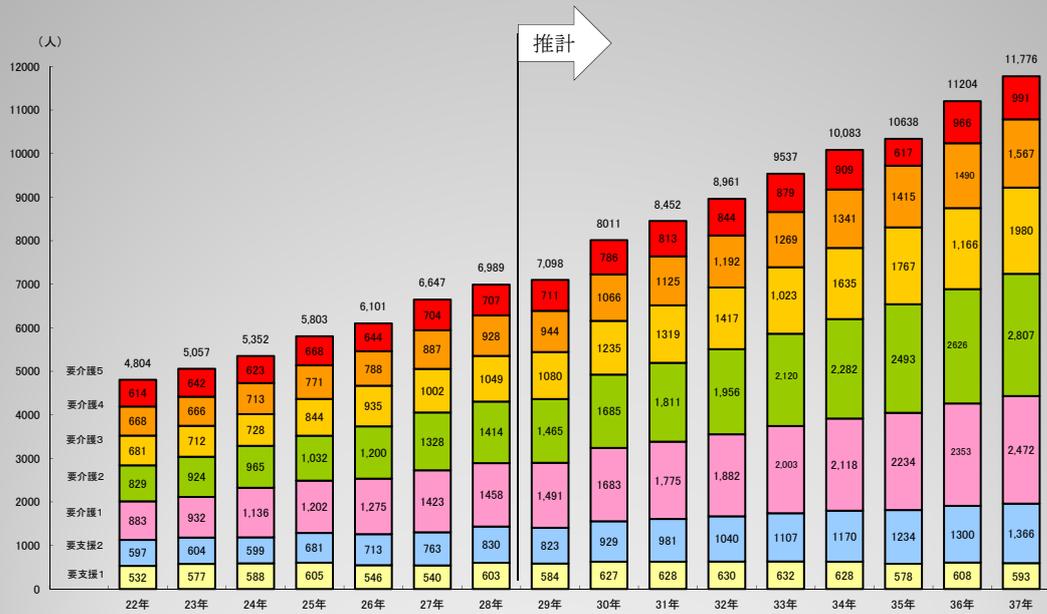
第5条 センターの代表者は、補助金に余剰が生じたときは、厚木市に返還するものとする。

【年齢階層別人口の推移（厚木市）】



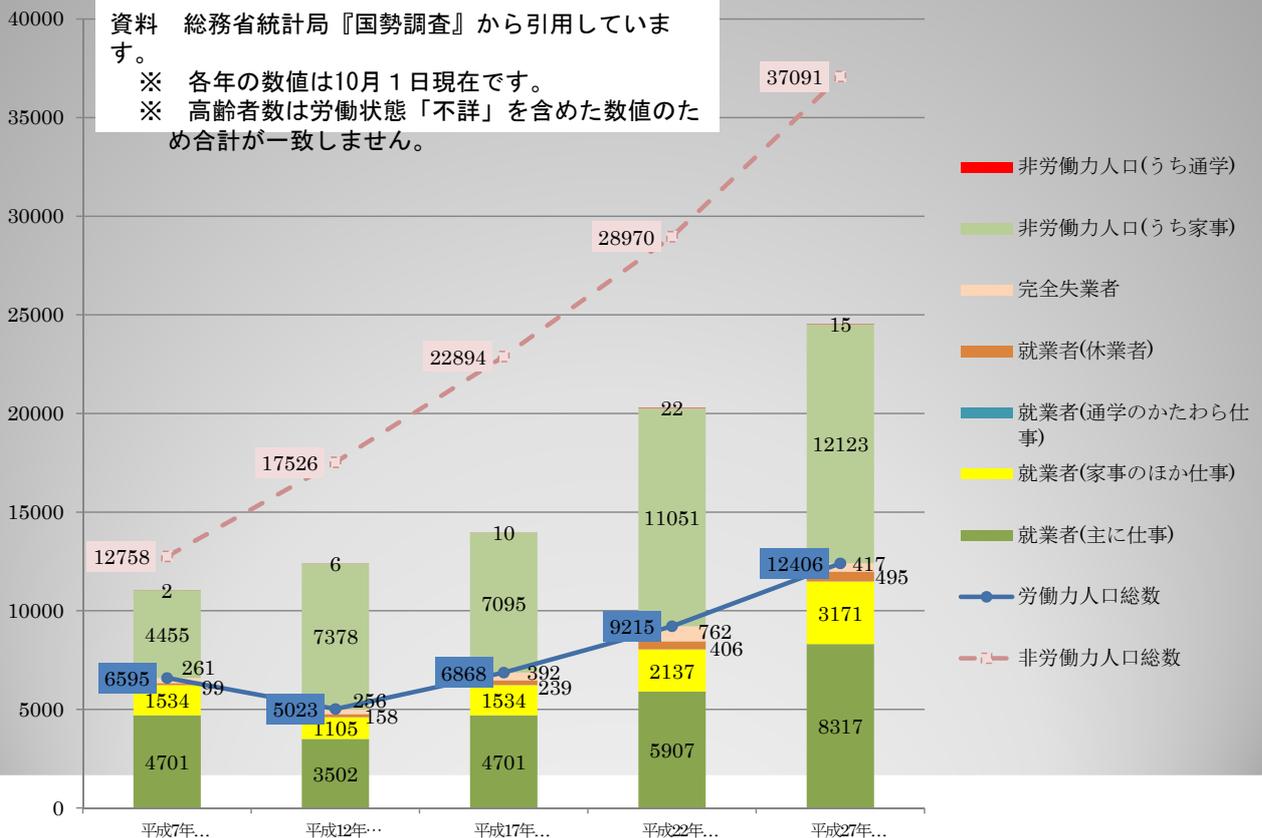
資料 国勢調査（昭和30年～平成27年）、神奈川県「年齢別人口統計調査1月現在」（平成28年）、厚木市人口ビジョン（厚木市推計人口総数）将来展望（平成37年、平成52年）

【要介護度別の実績と見通し（厚木市）】



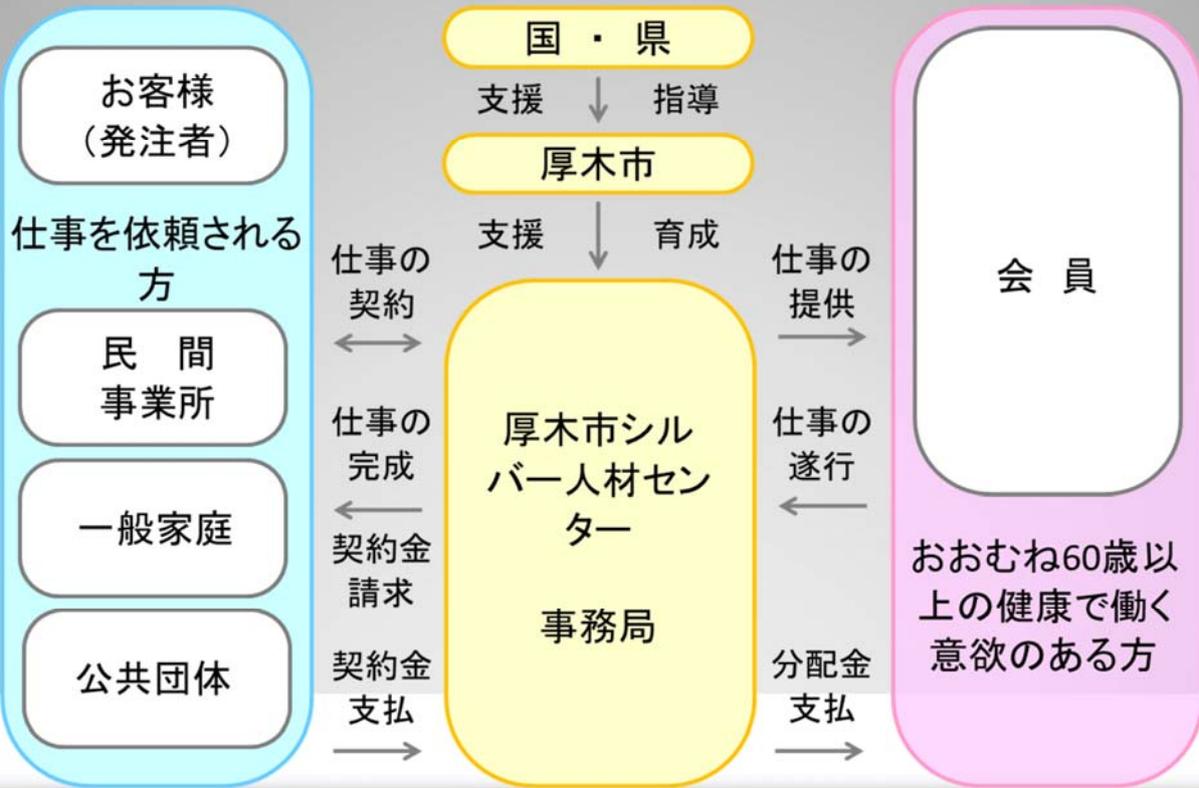
※ 各年の数値は、10月1日現在です。

【高齢者の就業状況の推移（厚木市）】



センター事業の全体像

シルバー人材センターの事業の概要



お引き受けしている仕事の例

◎技術

パソコン関連業務	1,605円 / 時間
家庭教師	1,605円 / 時間
経理事務	963円 / 時間

◎技能

植木剪定	1,391円 / 時間
襖・障子・網戸張替え	※全戸 3,317円 / 棟・障子 1,327円 / 棟 (障子別注)
修繕(大工・塗装等)	1,391円 / 時間
刃物とぎ	500円 / 1丁

◎事務

一般事務	936円 / 時間
毛筆筆耕(賞状)	※全戸 2,679円 / 枚 339円 / 字
宛名書き	※全戸 936円 / 枚 339円 / 枚

◎管理

建物・駐車場等管理	936円 / 時間
物品管理	936円 / 時間

◎折衝・外交

チラシ配付	4円 / 部
販売・集金	936円 / 時間

◎一般作業

除草・草刈	※手作業 1,077円 / 10坪 ※機械作業 339円 / 10坪
屋内外清掃	936円 / 時間
包装・梱包等	936円 / 時間

◎サービス

家事援助	936円 / 時間
高齢者介助	936円 / 時間
育児支援	936円 / 時間

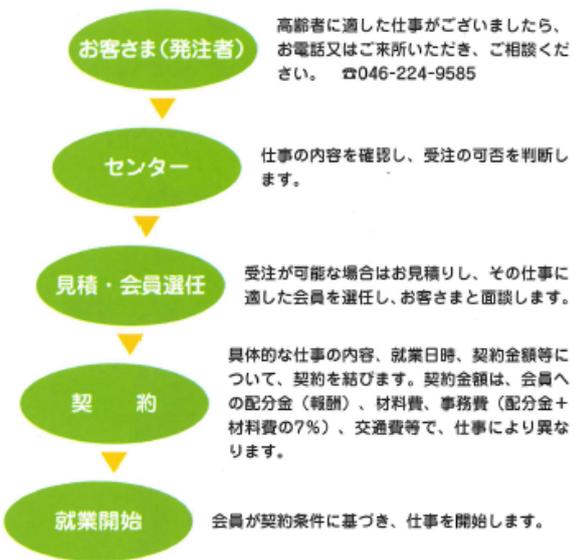
※上記の単価は平成27年4月1日現在で、消費税8%、手数料(事務費7%)が含まれています。

※襖・障子・網戸張替えの単価は材料費が含まれています。

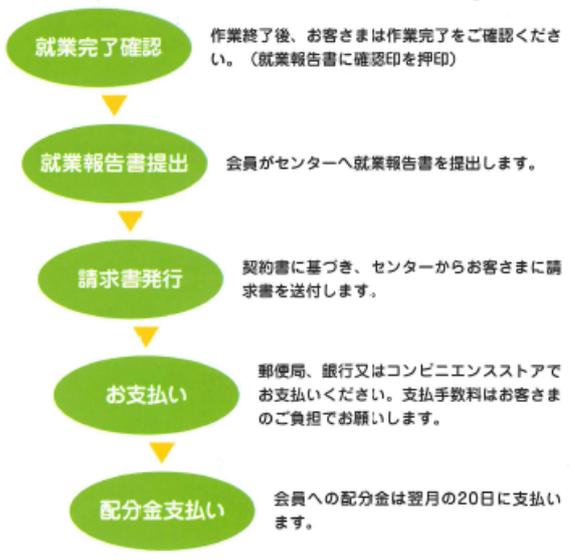


業務の流れ

【発注～作業開始】



【作業完了～配分金支払】



働いている職場の例①

そこは国道129沿いで酒井地区にあり、今年3月17日にオープンしたばかりの大型ホームセンターでした。1Fは直営のホームセンター、2Fはテナントでスーパーロピア、しまむら、クリエイト、百貨のセリア、他にクリーニング店、理髪店、歯科医、その他数店舗からなるフードコート

当日就業中の

今回は新たな受託業務であるスーパービバホーム厚木南インター店における「買い物カート整理」の職場を訪問しました。

カートは1F、2F共通になっているので各階に置かれた使用済みカートを1F、2Fに戻すのが仕事です。カート移動中、エレベータにお客さまが多い時は待つとか、通路を通るときはお客さんを優先するとか、お子さんとの接触がないよう気を付けるようにしているとのことでした。

カートの種類は、台車や、小さな子供を乗せられるものや、珍しいものではベットを乗せられるものもありました。

他に雨の日は濡れたカートを布で拭きとることもしています。

今回の仕事の受注でお世話になりました当店の中里次長にいきさつ等をお話ししました。最近若い人の採用が難しく、中途採用、継続雇用、また今回のように当センターに依頼するとかの手を尽くしているそうです。

今のシニアの方はとても元気がよく、いろいろ気配りも出来るので助かっているとのこと。当店で他の仕事への拡張もあり得るのかとお話しされておられました。そんな期待も込めてここで働く方々のさらなる活躍を祈念しました。

職場訪問
スーパービバホーム
厚木南インター店

今回は新たな受託業務であるスーパービバホーム厚木南インター店における「買い物カート整理」の職場を訪問しました。

ベット用カート

があります。
当センターの会員15人が交代で毎日3〜4人が就業しています。
駐車場は1F、2F、3Fにあります。

働いている職場の例②

家事援助サービス

シリーズ19回目は吾妻町にお住まいの
[氏名]さんから話を伺いました。



2年ほど前に入会し、除草作業に参加しているうちに「家事援助お話し相手」という仕事をさせていただくことになりました。週に1日1時間、30代のご夫婦のお宅に伺い、夕食の支度のお手伝いをしています。料理は私の得意分野。話をしながらの夕食作りは楽しいです。

若い人たちとの会話からは勉強になることが沢山あり刺激になります。除草では先輩の方々とも友達になり、シルバーの会員になって良かったと感じています。

今年3月にセンターから紹介された「ファミリースポーツ」の講習を終了しました。就学前の子供さんのお世話をし、働くお母さんが助ける仕事です。仕事の依頼が来るのを楽しみに待っています。

いつも元気に仕事ができるよう生活に緊張感をもち、健康管理には充分気を配っています。

元気と言えば、私は11回オカリナを練習しています。

そして私は浅草青ち。お御輿が大好き、お祭と聞くと血が騒ぎます。

5月には浅草の三社祭で担いできました。もちろん、8月のあつぎ鮎まつりも楽しみにしています。



働いている職場の例③

笑顔と誠実に心がけて

公民館管理業務の体験から

依知北地区



☆利用者の皆さまとともに「ありがとうございます。」と体育館を利用され、公民館を出られる小・中

学生や保護者の方々は、立ち止まって口を揃えて、

大きな声であいさつしてくれ

ます。

私も皆さんの顔を見ながら、笑

顔で心を込めてあいさつをします。

そんな時、若い世代の成長の手助けをしているような気がして、とても爽やかな気持ちになります。

☆嬉しいかったこと
日頃よく来館される若い女性の方が、ある日窓口で、「いつもありがとうございます。」と見ると安心します。目標にしています。いつまでも元気でいてください。」と声をかけてくれました。



☆特に気を使うこと

それは、飲食禁止の伝え方です。「おそれいります。ここは飲食禁止となっております。ゴミは各自で持ち帰っていただいております。決まりですのでご協力をお願いします。」と丁寧に優しい口調で声をかけます。

☆私の働き方の信条

これまで、家事援助、清掃、除草などの仕事に携わってきましたが、苦手と思った仕事も続けている内にいつの間にか得意になった私です。どんな仕事でも試しにやってみようと思っています。

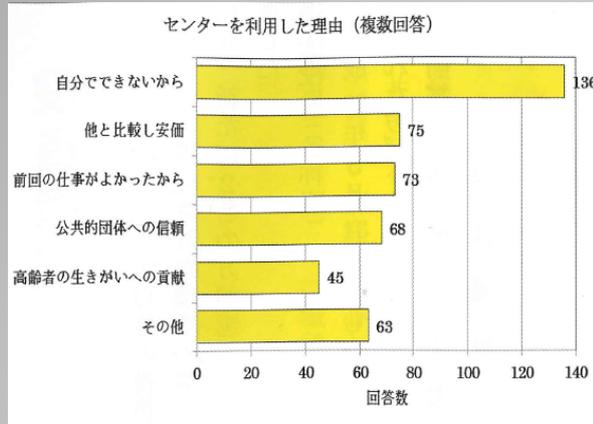


まだまだ自分の可能性を信じていたいと思います。これが私の働き方です。

顧客満足度調査

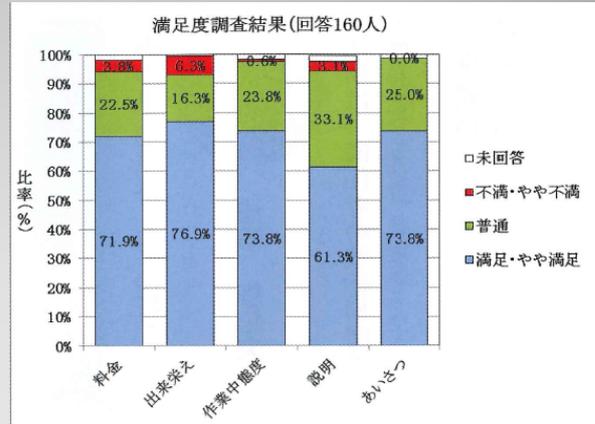
(H28年度実施 発注者250人中160人が回答)

【センターを利用した理由】



「自分でできないから」と「前回の仕事よかったから」が、前回よりも増加している。

【満足度調査結果】



「仕事の出来栄え」に満足していないお客様が6.3%いるため、今後、研修等を充実させる必要がある。

会員主体の幅広い活動

地域班会議

出席率50%以上と活発で
関心が非常に高い



睦合南地域班



緑ヶ丘地域班

ボランティア活動

★一日奉仕の日 (年1回)
厚木中央公園の除草・清掃作業



★シルバーの日 (年1回)
10月に、地域班毎に公共施設
などの除草・清掃作業など



学ぶ活動

★講習会・研修会
・接遇、応急処置
・植木剪定、草刈、襖張り



★サークル活動
・パソコン同好会 (パソコン)